

芸備線は今……

Vol.3

市民生活課市民生活係 ☎0824-731154

第2回 芸備線の存続に関する 協議会を開催しました



協議会の様子

● 芸備線の存続に関する協議会

3月29日、第2回目の「芸備線の存続に関する協議会」を開催しました。

この協議会は、市内における芸備線の存続および利用促進に関する調査研究などを行うことを目的に設置したものです。構成員は、沿線の自治振興区代表者、利用者の大半を占める市内高校の保護者代表、芸備線に関する活動をしている団体の方などです。

第1回協議会で出された意見などをもとに、生活利用・観光利用の両面から活性化策などについて議論しました。

【存続に関する意見】

- 芸備線が廃線となれば沿線高等学校の存続に影響すると思われる。芸備線が必要であるというアピールをしたい。
- 観光利用と生活利用とがあるが、市民が生活で利用することが大切である。
- 運行本数が限られる現状ではあるが、より利用しやすい時刻表となるよう検討・要望していきたい。利用しやすい時間帯となることで、利用者の増加の可能性はある。

【利用促進に関する意見】

- 芸備線に乗ったことがない市民が多いと思われる。市民が芸備線に乗る取り組みが必要である。
- 観光協会が企画・運営している日帰りツアーなど、さらに多く市民が乗る取り組みを継続していきたい。
- 東城・新見方面へのダイヤを見直し、伯備線へつながる利便性を高めれば利用者は増えるのではないか。
- 東城・西城・庄原など駅単位での取り組みは行われている。芸備線沿線のつながりを持った取り組みとなるよう工夫していきたい。
- 青春18切符の利用期間などでは、通過人員はとても多い。その方々がいかにか市内の駅で降りるかが大切である。駅利用者が利用者数としてカウントされると思うので、通過人員を市内の駅で降り降りさせる取り組みを考えていきたい。

これらの意見を踏まえ、本年度は、各駅で行われている取り組みを連携できる仕組みづくりに取り組んでいきます。